

宮古地区障がい者就労支援パンフレット ～障がいのある方の仕事を応援します～



社会福祉法人 みやこ福祉会

宮古圏域就労支援ネットワーク構築事業
就労支援ガイダンスチーム

目 次

- 1、はじめに(障がい者就労支援の必要性)……………1
- 2、宮古圏域の障がい者の現状……………3
- 3、障がい者雇用における就労支援制度
及び助成金等の紹介……………5
- 4、宮古における就労支援の流れ……………11
- 5、障がい者雇用事業所の声……………17
- 6、就労支援ネットワーク支援団体の紹介……………20



1、はじめに

1. はじめに（障がい者就労支援の必要性）

私たちは一定の年齢になれば、望む職業に就き、働いて得た収入は衣食住に費やしたり、生活に必要な物を買ったり、あるいは趣味やスポーツなど生活をエンジョイするために使います。又、就労を通じて仲間や同僚・先輩等と出会い信頼関係の輪を広げたり、働く喜びを通してたくましく成長していきます。このように就労することは個々の暮らしを確かな物にする手段でもあります。

しかし近年、長引く経済不況により障がい者が働くことを通して社会参加を図ることが困難な状況にある。このような社会情勢の中、障がい者援護施設や福祉作業所などに於いても利用者や離職中の在宅者の就労支援に関して、職場実習などの活用を含む独自の取り組みを展開し、障がい者の働く力の育成を図り、一般就労への移行を積極的に進めている所です。

障がい者の地域生活を支える重要な柱の一つが「就労支援」である。今後は、福祉施設の体系の見直しや就労支援施策の充実強化を図ることにより、障がい者が働く意欲と能力を高められるように支援するとともに、その意欲と能力に応じて働けるようにしていくことが重要であると確信しています。そのため、福祉部門と雇用部門等関係機関の就労支援ネットワークを構築し、福祉的就労から一般就労への移行を円滑に行えるようにして行かなければならない。又、障がい者が、自ら選択した職業生活を実現することが可能となるよう、一般就労に向けた支援体制等の大幅な充実強化を図ることが必要である。

例えば、ジョブコーチを積極的に活用して行きたい。ジョブコーチとは、障がい者が普通の職場で働くことを実現するため、「障がい者と企業の双方を支援する」就労支援の方法です。ジョブコーチの考え方や方法は、実践が進む中で、時代と共に移り変わっています。現在では、ジョブコーチは単に「職場で仕事を教える」だけではなく、評価から定着に至る全プロセスを、企業と連携して支援する全体的な方法論を意味するようになってきました。障がい者と企業との橋渡し役であり、就労全般についての障がい者と企業双方のサポーターがジョブコーチです。

障がい者の就労支援及び地域生活を支援する観点から、このパンフレットを作成し市町村や障害福祉サービス事業者、医療機関、各種団体、民間企業などを含めた地域の支援体制を構築して、障害のある方達の「暮らし」を応援致します。

沖縄県障害者就労支援ネットワーク構築事業受託事業所
社会福祉法人 みやこ福祉会
理事長 伊志嶺 博司